

相続実務研修

研修目的・ゴール等	相続にかかる法務・税務の基礎知識、実務知識・ノウハウを理解のうえ、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の担当者（業務経験２年以上の窓口・渉外）および管理者
適正人数	推奨：30名（上限：40名まで）
研修日程	２日（１日目10：00～17：00、２日目10：00～17：00）
研修講師	経済法令

【研修プログラム(1日目)】

		10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容		実施・解説 理解度（事前課題）確認テストの 開講挨拶・オリエンテーション	講義①（相続の基礎知識） *適宜休憩	（昼食）	講義②（相続の基礎知識（続き） ・遺産分割） *適宜休憩	講義③（遺言の基礎知識） *適宜休憩	理解度確認テストの実施・解説	まとめ	
時間		10 20	90	60	100	105	30	15	

【研修プログラム(2日目)】

		10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容		基礎知識 講義④（相続にかかわる税務の	（昼食）	講義⑤（戸籍の見方） *適宜休憩	ケーススタディ ・事例 ・債務者・保証人の死亡 ・各種手続と注意点	理解度確認テストの実施と解説	まとめ・閉講挨拶		
時間		120	60	75	120	30	15		

事前課題	あり	◇事前課題テキストの読み込み（研修の始めに事前課題テキストに基づき、理解度（事前課題）確認テストを実施する） ※事前課題テキストは受講者へ事前に配布し、受講者は研修当日も持参する
事後課題	なし	

★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、県域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。